



警察官・消防官試験の全体像、各科目の基本的な学習方法などの受験ノウハウについて詳しく説明いたします。

中学・高校レベルの学習内容を復習しながら、警察官・消防官試験に必要な基礎学力を身につけます。本格的な学習を始める前の基礎学習に最適です。

INPUT(基本講義・一般知識講義)とOUTPUT(基本演習・一般知識演習)を繰り返すことで、数的処理や一般知識を徹底的に対策することができます。各演習では成績判定が実施されますので、自分の実力を確認しながら、合格するための力を確実に身につけていくことができます。

〔ミニテスト〕NEW!

基本講義・一般知識講義では、前回の講義内容のチェックとして、ミニテストを実施し、知識の定着を図ります。

12月・2月に実施します。実力をチェックすることで弱点を把握し、その後の学習に役立てます。

受験生が苦手とする警視庁・東京消防庁の数的処理や自然科学を集中特訓し、レベルアップを図ります。また、業務を正確に早く行うことができるかを見られる適性試験の対策では、検査手法等の紹介も実施します。

講義で論文・作文に必要な基本的なルール・文章の作り方を評価されるポイントなどを学びます。基礎力を身につけた後は、実際に答案を書いているかを見られる適性試験の対策では、検査手法等の紹介も実施します。

試験種別に4種類の模試をご用意しています。本試験形式で実施しますので、自分の実力を把握すると同時に、本番前に解答する順番・時間配分などに慣れ、模試を通して本番で実力を発揮することができます。

筆記試験の重要な得点源にもなる時事問題を、新聞・白書等の最新情報を元に、追い込みの効く試験直前期に効率的にマスターします。

講義では、自己PRの方法・面接カードの書き方・情報収集の方法など面接の基本ノウハウを丁寧に解説します。講義の後には、模擬面接で本番の疑似体験! さらに面接カードの添削も行いますので、自信を持って本番の面接に臨めます。